

カトリック精神に貫かれた教育方針のもと、教育がなされています。子ども達の心と体の成長に対応した教育がなされている。モンテッソーリ教育についても日々勉強会を行い、努力されている様子がわかります。

水曜日の午前保育をもう少し長くしてほしい。

全教職員の方々は常に相談し、園児一人ひとりの成長に目を向け対応してもらえる。特に、クラス担任が2名とその他の先生も子どもたちをよくみてくださる。

また、施設は清潔に保たれ、子どもたちが健康で安全に過ごせるよう環境整備を行っておられます。気象警報等の対応も迅速で子どもたちの安全を考えてくださる。

夏の園庭での虫・蚊対策を検討してほしい。

日常は、メールは配信やホームページで、子どもの様子、お知らせ等が速やかに行われ、満足しています。また園での様子を連絡帳や電話でも、知らせてもらえる。

保護者からの意見や要望にも丁寧に対応してもらえる。

勤労感謝の施設訪問やディサービスセンターの訪問、バザーなどを行い、地域社会とのつながりを大切にされています。また、地域の方でボランティアを募り、行事の際に来てもらうと、地域の方とも連携できるのでよりよくなっていくと思います。

子育て支援としての預かり保育も、就労者のニーズに対応し、利用しやすい制度に改善され助かっています。夏休み等の長期休暇中の預かり保育については、時間帯や料金を検討してほしい。

課外教室がもう少しあれば、ありがたいと思います。

すべての教職員がいつも子ども達ひとり一人をよく見てくださるので、安心できます。

働く方が増えているのでPTA活動が難しくなっています、人選について検討してほしい。

- ◎ 園の教育理念や方針を理解し、保育計画のもと子どもたちの実態にあわせて環境を整え、保育を行っている。また、保育活動や指導がマンネリにならないように、研修会や勉強会へ積極的に参加し、日々の保育を充実させたい。
- ◎ 常に子どもたちの事故防止に努め、子どもたち自身が危険を察知し回避できるように指導を続けているが、まだまだ危険を判断できない子どもがいる。職員全体で危険箇所を確認し、引き続き指導を続けていく。
- ◎ 教師としての資質や知識を向上させるため、園外における研修会に参加し、お互いに学んだことを共有し、日々の保育に生かしている。
- ◎ 保護者への対応、相談などにも丁寧にかかわり、教職員が協力し、支援できるように努めている。
- ◎ 今後の課題としてあげられること
 - ・昨年度に引き続き、お互いの保育について分かち合い、自分の保育について考える機会がまだまだ不十分である。週に一度、全体で振り返りを行い次週に生かすように努力する。
 - ・昨年度に引き続き、地域との関わり、自然環境との関わりがまだまだ不十分なので、保育計画に取り入れ関わりを持つよう努力する、
 - ・幼稚園指導要領が改訂されたことで、子ども個々の観察や指導をより深め、活動のプロセスを重視することが求められている。このことを踏まえて、日々の保育を見直し、モンテッソーリ教育の目標である子どもの自主・自立をさらに引き出すよう努力する。

園長コメント

今日の社会情勢のめまぐるしい変化の中でも、キリスト教に根ざした保育を変わらず行っていきたいと考える。教職員は常に、真面目に教育に取り組んでいるが、お互いの課題を共有し、園全体での改善には至っていない。今後は上記に記載したように、週に一度振り返りや分かち合いの機会を増やし、互いの指導を深めるよう努力する。

また、本園の特色であるモンテッソーリ教育を充実させるべく、今年度も資格取得コースの参加を含め、引き続き園内外の研修に力を入れていきたい。

新しく作成したカリキュラムを深め、具体的な内容をさらに学習する。

外部評価より出た課題については以下の改善を行う。

- ・平成30年度より水曜日の保育時間を増やす。
- ・園庭環境の衛生について改善する。